令和８年度　　日野市立 七生中学校　　経営重点計画　　自己評価シート　　令和8年6月公表

★学校の教育目標	○自ら学び考え行動しよう　○責任と思いやりの心をもとう　○健全な心と体をつくろう	★重点計画の概要
★目指す学校像（ビジョン） 【目指す生徒像】 人としての生き方・在り方を追求し、自分らしい生き方を実現する生徒 【目指す学校像】 互いの生命・健康・安全を尊重しつつ、確かな学力と豊かな心を着実に育み、生きる力を伸ばす学校 【目指す教師像】 互いに支え合い、高め合い、分かち合いながら、教育目標の実現に取り組む教師		【学びの変革プロジェクト】「自ら学び、深め、広げる」プロジェクト 「主体的な学習者による探究的な学び」を実現する学習環境の整備 ○ 単元・題材の目標の明確化 ○ 主体的な学習につながる学習課題の設定 ○ 課題を解決するための多様な手立ての準備 ○ 生徒が自ら立案・調整する学習計画の導入 ○ 学びを実感できる振り返りや評価の実施

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組指標	成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	【学びの変革プロジェクト】 「主体的な学習者による探究的な学び」を実現する学習環境の整備	・単元 題材の目標の明確化 ・主体的な学習につながる学習課題の設定 ・課題を解決するための多様な手立ての準備 ・生徒が自ら立案・調整する学習計画の導入 ・学びを実感できる振り返りや評価の実施	・校内研究を充実させ、「主体的な学び」「個別最適な学び」の観点からの授業改善を推進する。 ・「協働的な学び」「探究的な学び」の実現に向け、学習者用端末を効果的に活用した学習活動を実践する。 ・「適正で信頼される評価」について理解を深め、実践するとともに、評価結果にい基づく授業改善に取り組む。	４　９０％以上の教員が、計画的、組織的に行った。	４　生徒のアンケートで、９０％以上が「主体的・探究的に授業や学習に取り組んでいる」と回答した。
				３　８０％以上の教員が、計画的、組織的に行った。	３　生徒のアンケートで、８０％以上が「主体的・探究的に授業や学習に取り組んでいる」と回答した。
				２　７０％以上の教員が、計画的、組織的に行った。	２　生徒のアンケートで、７０％以上が「主体的・探究的に授業や学習に取り組んでいる」と回答した。
				１　計画的、組織的に取り組みを行った教員が７０％に満たなかった。	１　生徒のアンケートで、「主体的・探究的に授業や学習に取り組んでいる」と回答した生徒が７０％未満。
	「豊かな心を着実に育む道徳教育」の充実	・「考え議論し深まり広がる」道徳科の授業の充実 ・学校・家庭・地域が一体となって子供たちの豊かな心を育む体制の強化 ・教育活動全体を通じて取り組む道徳教育の充実	・年間複数回のミニ研修、ローテーション道徳、都教委の資料の共有等を通じて、授業力の向上を図る。 ・道徳授業地区公開講座の意見交換会や保護者会等を通じて家庭・地域への啓発を行い、豊かな心を育む協働体制の強化を図る。 ・教科等の指導や生活指導において道徳教育の視点をもち、共に考え共に成長する気運の醸成を図る。	４　９０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	４　生徒のアンケートで、９０％以上が「自分は人権を尊重して行動している」と回答した。
				３　８０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	３　生徒のアンケートで、８０％以上が「自分は人権を尊重して行動している」と回答した。
				２　７０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	２　生徒のアンケートで、７０％以上が「自分は人権を尊重して行動している」と回答した。
				１　計画的、組織的に取組を行った教員が７０％に満たなかった。	１　生徒のアンケートで、「自分は人権を尊重して行動している」と回答した生徒が７０％未満。
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	誰一人取り残さない支援体制の充実	・特別支援教育に係る組織的な取組の強化と細やかな生徒理解 ・不登校及び不登校傾向の生徒への支援体制の充実	・校内委員会を核として、個々の生徒の実態や具体的な支援策の共有・実践を図る。 ・個別指導計画に基づき、関係機関等とも連携を密にしつつ、適切な支援の実施を図る。 ・校内登校支援教室、ステップ教室、リソースルーム等、個々の課題や特性等に応じた校内環境の充実を図る。	４　９０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	４　生徒のアンケートで、９０％以上が「困りごとに対し、学校はしっかり話を聞いて対応してくれている」と回答した。
				３　８０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	３　生徒のアンケートで、８０％以上が「困りごとに対し、学校はしっかり話を聞いて対応してくれている」と回答した。
				２　７０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	２　生徒のアンケートで、７０％以上が「困りごとに対し、学校はしっかり話を聞いて対応してくれている」と回答した。
				１　計画的、組織的に取組を行った教員が７０％に満たなかった。	１　生徒のアンケートで、「困りごとに対し、学校はしっかり話を聞いて対応してくれている」との回答が７０％未満。
	道徳教育の視点からの生活指導の徹底	・互いの人格を尊重し、いじめを許さない風土の醸成 ・「あいさつとマナーの七生中」の実践・充実 ・情報モラル教育の充実	・「生命・健康・安全」を最優先に考えつつ、人としてどうあるべきかを生徒が考えられるようになる生活指導に全校体制で取り組む。 ・日常的な指導や取組の積み重ねを通じて、生徒の精神的・内面的な成長を促す生活指導に全校体制で取り組む。 ・定期的なアンケートの実施等により生徒の実態把握を行い、いじめの未然防止や早期発見、迅速な対応へとつなげる。 ・SNSに使い方等について、道徳やセーフティ教室、GIGAワークブックとうきょう等を活用し、継続的な指導を行う。	４　９０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	４　生徒のアンケートで、９５％以上が「自分はいじめをしていない」と回答した。
				３　８０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	３　生徒のアンケートで、９０％以上が「自分はいじめをしていない」と回答した。
				２　７０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	２　生徒のアンケートで、８５％以上が「自分はいじめをしていない」と回答した。
				１　計画的、組織的に取組を行った教員が７０％に満たなかった。	１　生徒のアンケートで、「自分はいじめをしていない」と回答した生徒が８５％未満。
社会と未来に開き、みんなでつくる	自己実現につなぐキャリア教育の充実	・自己を見つめ、自分しい生き方を実現する力を育むキャリア教育の充実	・発達の段階に応じた、計画的で一貫性のあるキャリア教育を実施する。 ・教育活動を相互に関連付けながら学校全体で取り組むキャリア教育を実施する。 ・地域人材の活用等による多様で体験的な学習機会を創出する。	４　９０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	４　生徒のアンケートで、９０％以上が「自分の将来について考えるようになった」と回答した。
				３　８０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	３　生徒のアンケートで、８０％以上が「自分の将来について考えるようになった」と回答した。
				２　７０％以上の教員が、計画的、組織的に取組を行った。	２　生徒のアンケートで、７０％以上が「自分の将来について考えるようになった」と回答した。
				１　計画的、組織的に取組を行った教員が７０％に満たなかった。	１　生徒のアンケートで、「自分の将来について考えるようになった」と回答した生徒が７０％未満。
	保護者・地域との連携による開かれた学校づくり	・保護者や地域住民と連携した教育活動の拡充 ・地域の一員としての自覚の向上と地域行事等への参画	・授業や学校行事、体験活動等への保護者・地域住民の参加を促し、協働体制を強化する。 ・地域行事やボランティア活動への生徒の積極的な参加を促し、地域の一員としての自覚の向上を図る。 ・コミュニティ・スクールへの移行を視野に、体制づくり等に関する検討を開始する。	４　７０％以上の教員が、具体的な取組に関わった。	４　生徒のアンケートで、７０％以上が「学校や地域などのボランティア活動に参加したことがある」と回答した。
				３　６０％以上の教員が、具体的な取組に関わった。	３　生徒のアンケートで、６０％以上が「学校や地域などのボランティア活動に参加したことがある」と回答した。
				２　５０％以上の教員が、具体的な取組に関わった。	２　生徒のアンケートで、５０％以上が「学校や地域などのボランティア活動に参加したことがある」と回答した。
				１　具体的な取組に関わった教員が５０％に満たなかった。	１　生徒のアンケートで、「学校や地域などのボランティア活動に参加したことがある」と回答した生徒が５０％未満。

※評価指標・評価基準は、２の段階を現状としています。